



市内の話題

柏木農業高校にふじの木が移植

11月20日、弘前実業高校藤崎校舎が来年3月で閉校することに伴い、同校で管理している、生産量世界一のりんご「ふじ」の原木の遺伝子を受け継ぐ木が柏木農業高校に移植されました。この木は、平成16年に藤崎校舎で原木がある盛岡市の研究施設から穂木をもらいうけ、接ぎ木をして生育させてきたもので、今後は柏木農業高校で栽培管理が行われます。この日は、生物生産科の生徒らが移植作業に参加し、果樹園に運び込まれた木が真っ直ぐになるよう埋め込み、土をかぶせました。



平賀学校給食センター 再始動



11月14日、平成29年6月から大規模な改修工事が行われていた「平賀学校給食センター」で、新しく導入した調理機器を使用し、最終確認が行われました。

調理員は操作手順や、実際に調理しての仕上がりなどを入念に確認し、提供の再開に備えていました。
※給食の提供は11月20日から再開されました。



ひらかわイルミネーション プロムナード



11月22日、弘南鉄道平賀駅前通りから市役所本庁舎付近にかけて、イルミネーションの点灯が行われました。通り沿いの建物や街路灯などが色とりどりのLEDで装飾されたほか、今年は7色に光り輝く台湾提灯が駅前広場に飾られ、平賀駅構内では台湾ビール列車が催されました。通りを歩く市民は約7万個のLEDでライトアップされて幻想的な世界観となった街並みを楽しみ、写真に収めていました。



中学生の税についての 作文で黒石税務署長賞



全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した「第52回中学生の税についての作文」で、伊藤鈴菜さん（平賀西中2年）が黒石税務署長賞を受賞しました。

この作文募集は、将来を担う中学生の税への関心を高めようと毎年実施されています。今年度の応募総数は593,795編で、11月13日に同校で行われた伝達式では、黒石税務署員より、賞状と記念品が贈呈されました。